

地域	広島県福山市	認定日	平成20年 9月19日	通巻番号	6 - 20 - 006
----	--------	-----	-------------	------	--------------

事業名	「もち麦」と瀬戸内沿岸の食材を使った健康志向のパン 「瀬戸内地ぱん」の生産及び販路拡大事業
-----	--

連携体	中小企業者	株式会社 紫萌堂(製造業)
	農林漁業者	有限会社 アグリインダストリー(農業)
	連携参加者	銀嶺食品 工業株式会社(製造業)

サポート機関等	中小企業基盤整備機構中国支部 中国地域活性化支援事務局
---------	-----------------------------

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

連携の経緯

㈱紫萌堂は、卵や牛乳等を使用しない、健康志向のパン「瀬戸内地ぱん」を製造・販売するにあたり、特徴的な素材を検討した結果、昭和初期まで瀬戸内地域で広く栽培されていた「もち麦」に目を付けた。現在では、特定地域のみで生産されている「もち麦」を、(有)アグリインダストリーより調達し、パンの製造には、他地域で取り組んでいる銀嶺食品工業㈱よりノウハウの供与を受けながら事業展開を行なう。

新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

原料となる「もち麦」は穀類の中でも食物繊維の含有率が高く、機能的食品として見直されつつあり、特に、血中コレステロールを下げる働きや、大腸ガンの予防効果があるとされる食物繊維の - グルカンが、米や小麦に比べて多く含まれており、競争力の高い商品開発が可能である。そうした特徴を持つ「もち麦」の「もちもちした食感」と「健康的な機能性」を最大限に活かした「瀬戸内地ぱん」を開発し、健康志向の方をターゲットとして、ユーザーの健康に寄与したいと考えている。また、地元を代表する観光地である「鞆の浦」に工場併設型の店舗を設置し、販売を行なう他、連携参加者である銀嶺食品工業の協力を得ることにより、首都圏等で広く販売を行なうことが可能であり、市場性も高いと考えている。



瀬戸内地ぱん

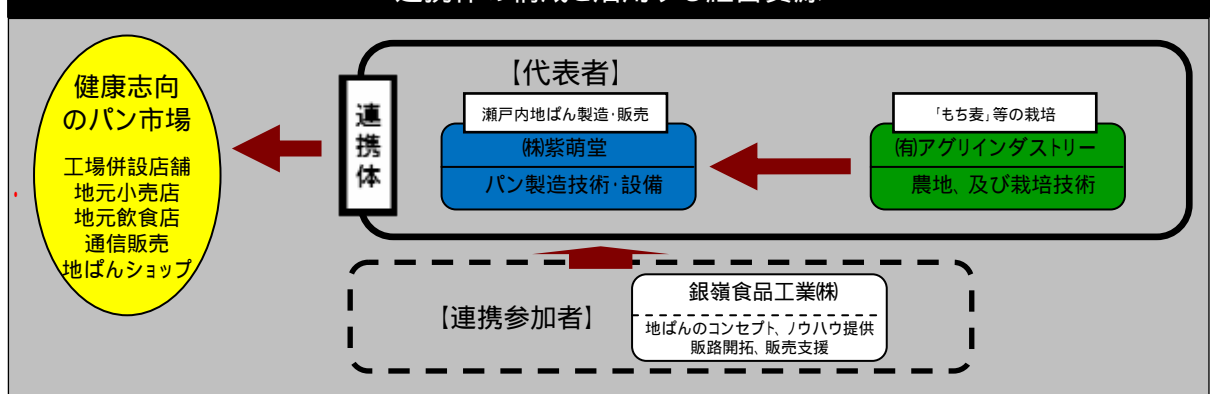


もち麦



紫萌豆(紫落花生)

連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等

「もち麦」という地域伝統農産物の復興と、「紫落花生」という地域の新しい特産品を産み出す事による経済効果。
「瀬戸内地ぱん」という、地域に特化した商品を広く全国に展開する事で、瀬戸内の知名度、並びに産地としてのブランド力向上。

代表企業等の連絡先

代表者・所在地:株式会社 紫萌堂(広島県福山市市川口町1-16-35)
電話番号:084-953-2713
FAX番号:084-953-2817
E-mail:info@shihomame.com
ホームページ:http://www.shihomame.com/